

北海道開発局
同時発表令和3年7月28日
道路局国道・技術課

広域安定供給可能なアスファルト舗装技術に関する公募について

～ 新技術のさらなる活用の促進を図ることを目的としています ～

アスファルト舗装においては、近年頻発する地震や豪雨など自然災害による道路ネットワークの寸断時において、早期に復旧するための大量の資材供給が求められています。しかし、災害発生時には、アスファルト合材の製造プラントの被災も想定されるため、広域的かつ安定的な材料の供給体制が必要となります。

また、公共事業予算の縮減に比例し、アスファルト混合物の出荷量が減少しており、それに伴うアスファルト合材の製造プラントの統廃合により、材料供給の空白地域が発生するおそれがあります。

さらには、自然災害激甚化の背景にある地球環境問題をはじめ、暮らしや経済など多様な観点から持続可能な開発目標の取り組みが、世界的に求められています。

このため、広域において安定供給可能なアスファルト舗装技術について、求める性能及びその性能を確認する方法を整備するために、新たな舗装技術を公募します。

応募技術の検証結果を技術基準等の改訂の基礎資料として用いるとともに、検証結果を公表することで新技術のさらなる活用の促進を図ることを目的としています。

なお、本公募は企業や製品・技術の認定を行うものではありません。

1. 公募期間： 令和3年7月28日（水）～令和3年9月28日（火）
2. 公募要領、応募資料作成要領、及び応募様式：
下記ホームページより、公募要領、応募資料作成要領、及び応募様式をダウンロードできます。

<https://www.jice.or.jp/roadtech/was-as>

3. 公募に関する問い合わせ：

一般財団法人 国土技術研究センター 道路政策グループ

広域安定供給可能なアスファルト舗装技術担当

TEL:03-4519-5002 FAX:03-4519-5012 E-mail:was-as@jice.or.jp

※本技術公募は、令和2年4月27日に開催された道路技術懇談会を経て導入促進機関として選定された「一般財団法人 国土技術研究センター」が行います。

<問い合わせ先>

① 技術公募について

国土交通省北海道開発局建設部道路建設課

課長補佐 長谷（内5374）、道路技術専門官 小林（内5367）

TEL:011-709-2311（代表） FAX:011-757-3270

② 新技術導入促進計画について

国土交通省道路局国道・技術課道路メンテナンス企画室

課長補佐 谷（内37892）

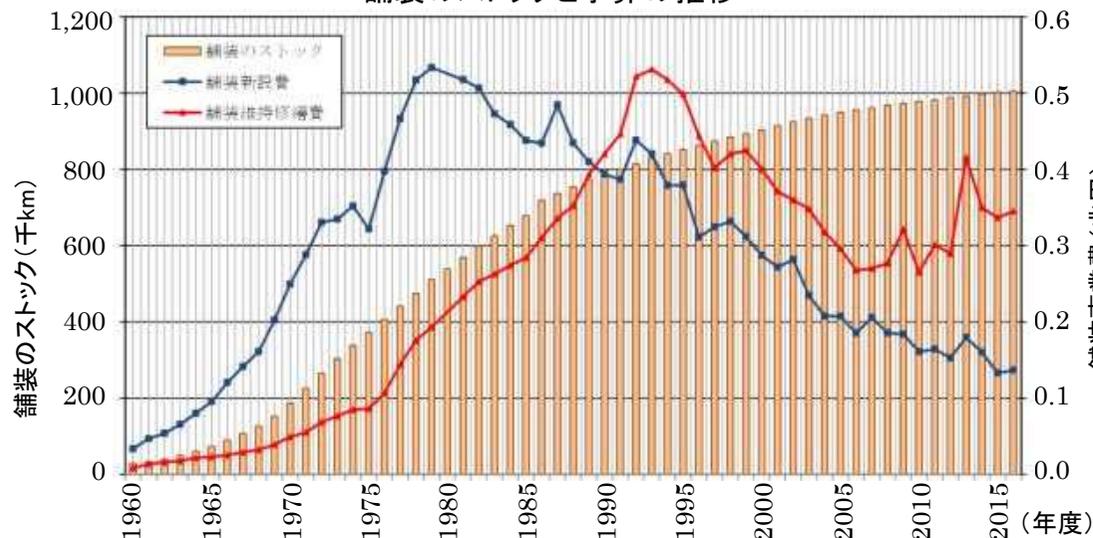
TEL:03-5253-8111（代表） 03-5253-8494（直通） FAX:03-5253-1620

「広域安定供給可能なアスファルト舗装技術」に関する公募について

- 災害時における早期の復旧や老朽化に対応するため、広域において安定供給可能なアスファルト舗装技術について、求める性能、性能を確認する方法を整理した上で、製造、運搬、施工の各技術を通じた技術公募を実施。
- 現場実証の結果を踏まえ、技術基準改定案を作成の上、現場実装を実施する予定。

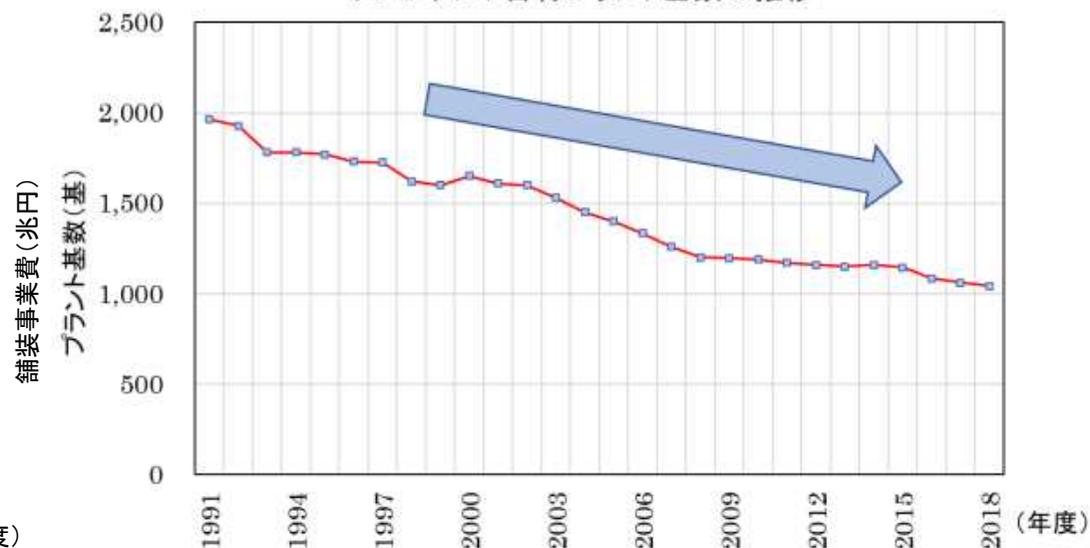
分類	公募する技術
製造技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来よりも広域への運搬が可能な技術 ● 通常の道路交通に求められる耐久性を有し、LCCの観点から既存技術との比較が可能な技術 ● 再生利用が可能な技術
運搬技術	
施工技術	

舗装のストックと予算の推移



- 舗装ストックは増加しているものの、舗装新設費、舗装維持修繕費は減少

アスファルト合材プラント基数の推移



- 需要の縮小、合材舗装プラント統廃合により、プラントの基数が減少
- 材料供給の空白地域が拡大する恐れあり

想定される技術

【現状の課題】

- アスファルト混合物の運搬は2時間程度が限度であるため、工場からの供給範囲が限られる。
- 近年頻発する自然災害発生において、工場が被災することによりアスファルトや合材供給不安が懸念される。
- 持続可能社会に対する関心の高まりから、持続的に有効活用する技術の向上が求められている。

想定される技術の例

アスファルト混合物製造時における技術



<常温または中温化による製造イメージ>

アスファルト混合物輸送時における技術



<輸送時の保温技術イメージ>

アスファルト混合物施工時における技術



<再加熱等の施工技術イメージ>